

# おひさまっこ保育園自己評価表

2023年度 評価責任者：施設長 菊池彩子

	今年度の活動	評価・反省 課題
施設管理	施設内の壁の剥がれが数か所あり、改修工事をしました。二階足洗い場からの水漏れについては、保証期間であったので業者側の負担で防水塗装をして修繕しました。	建設時の不備からの改修であったが、今後も毎月点検をしていく事で施設の管理に努めていきます。
人事管理	年度途中から看護師を配置し、体調不良児型保育事業を開始できました。スマイルサポーターの研修を職員が受講し、資格を取得しました。キャリアアップ研修の受講を対象者が全分野取得できるように計画的に受講しています。全国保育問題研究集会で「地域に開かれた保育活動」の分科会で実践提案をしました。	スマイルサポーターの資格を職員が取得したことで、地域の子育て世帯の要求や相談に応じていける体制をつくることができました。全国の保育集会で実践への意見等をいただき、今後の地域活動につなげていく機会になりました。
保護者対応	2歳児保育修了時に、おひさま保育園への引き上げ転所につながるようなお祝いのつどい『にじの会』を行いました。3年ぶりに給食試食会、新入園懇談会を再開しました。	子どもたちの真ん中に、クラスを越えて2歳児の子ども達の保育の修了をみんなで喜び合える機会になりましたが、おひさま保育園への引き上げ転所につながるよう、来年度はおひさま保育園の2歳児と共に集いを行っていきます。
健康及び安全	秋から冬にかけて下痢や嘔吐の症状が認められる児が数名いましたが、今年度も健康面では、感染症など大きな広がりはありませんでした。施設機能強化の補助金でAEDを設置することができました。事故件数は0件で、大きなけがはなく受診症例はありませんでした。	AEDを設置したことで、緊急時の対応の強化をはかることができました。 看護師と共に『身体の日』を設け、手洗いや鼻かみなどの取り組みを子どもたちと共に行うことができ、健康管理について考え合う機会になりました。また、子どものきめ細やかな健康管理に努めることができ、保護者の安心につながりました。
小学校・地域連携	引き続き、自治会、社会福祉協議会と連携し、介護予防体操（ぐんぐん元気塾）、認知症とその家族の交流の場（オレンジカフェ）、お弁当配布などに場所の提供を実施しました。おひさま保育園の卒園児ボランティアの受け入れを実施し、連携しながら取り組んでいる子どもの居場所づくり『おひさまの家』（地域支援事業）は放課後子どもクラブ後の生活支援の場として4年目になり、定着してきています。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴って、地域の方も保育園に足を運んで園児とも顔を合わせる機会が増えました。引き続き地域の方との交流をし、お互いにつながりを感じられる機会を大切に、地域福祉の拠点としての役割が担えるよう取り組んでいきます。『おひさまの家』事業では、簡単なおやつ作りや買い物体験などを行いながら、生活力を高められるよう内容を充実させながら、在園児との交流を図っていきます。
保育の質の向上	園内研修ではおひさま保育園と共に研究者に参画いただき、年間を通して保育実践から学ぶ機会を持ちました。法人研修では、新任職員を対象に『仲間と共に語り合い学び楽しい保育を』というテーマで研修し、職員の沖縄の平和研修の報告、子どもの人権を考えるというテーマでは、小児科医の方を招いて発達障がいについて学ぶことができました。また、法人の歴史から学び歴史をつくっていくという視点から、理解を深めました。	専門委員「美術」「わらべうた」「運動遊び」「リズム運動」を立ち上げましたが、専門性が発揮できる機会をつくることはできませんでした。実践会を行った専門委員もありましたが、専門性を高めていくという視点では、課題が残りました。定例で専門委員会を開き、子どもの姿から学習し、専門性を高めていく委員会にしていきたいと思えます。
地域との関わり	地域の園庭開放「あそぼう会」のスマイルサポーターの資格を持つ職員を中心に計画し、活動内容の充実を図りました。年間を通して96人の参加者がありました。	2024年度はおひさま保育園がマイ子育て広場をはじめます。毎週の園庭開放、月1回の地域活動を地域の子育て支援の場として貢献できるように、共に計画実行していきます。
その他		